

# UTA会 だより

## 第3号

### ■幹事長の挨拶

久保明子

二〇一〇年もあと残すところ一二月のUTA会だけになりま

した。二十年以上もの長い間に、形を変えてきたセミナーも、今ではUTA会となつて同窓会として周知されたこと思います。嬉しいです。勉強もどんどん進み、ホームページも日々更新さ

れ、至れり尽くせりの盛りだくさんの内容に驚きながら、何とお礼を申し上げて良いか分かりません。ただただ、ありがとうございます。

セミナーでも前に積極的に出

られる方の中には、本当に新し

く学ぶ方が増えてきたと実感し

ます。そして、皆様とても真剣

です。長く学んできた方々も今

では真剣な眼差しです。セミナー

会場も、そんな熱気を感じます。

その中で、お子様連れの若い

ご両親、または保護者の方にお

願いです。お子様を交代で見ら

れて参加していただきたいと思

います。お子様を見ながらのセ

ミナー参加では、今ひとつ勉強

ができないと思います。また、

他の参加者の方々の勉強の妨げ

になります。お子様の声でマイクの声が聞こえない、何とかならないかという声も耳にします。大変な努力をして時間もお金も、そして、家族や、職場の協力を

得て参加するUTA会です。どうか、ご理解ください。

ただ、お子様でもセミナー会

場で勉強できる態勢のお子様に

ついては参加は可能です。

そして同室希望も、セミナー

案内にもありますが、同室希望

をお書きになる前に、趣旨をご

理解いただければと思います。

今回お願い事ばかりですが、

UTA会になつてもなかなか現

実がご理解いただけないので、

この紙面をお借りして書かせて

いただきました。十二月のUTA会で実践していきましょう。



第4回UTA会風景

### ■第三回UTA会の開催状況

二〇一〇年五月九日から十一日まで、第三回UTA会が開催されました。

今回から原則としてUTA会会員のみの参加となりましたが、七百三十名を超える多くの方々の参加がありました。

初日の田池先生の挨拶では、「古い人も新しい人も、この二年をメドに学びを進めてください。このたびへ意識の流れ・増補改訂版▽が出版されました。学びの指針として読んでください。常識的に生きている人はこの本に反発するでしょう。徹底的に反抗、抵抗してください。だんだん変わってきます。相手を変えよう

とするのはダメです。自分が変わることです」といった主旨で話されました。

続く体験発表は、幹事長の久保明子さんが自ら出て「今回、△意識の流れ・増補改訂版▽を書店で買いました。表紙を見るだけで涙が出ました。同居している母も読むんです。本からも母からもいろいろな気付きをいただきました。ありがとうございました」と話されました。

続いて、波動の勉強に先立ち田池先生から「あの本△新刊▽は波動なんです。この学びは心で分かる勉強です。そのために母親の反省、田池留吉に心を合わせる瞑想、とにかく波動です。自己確立した人から平和の波動が流れます」と強調され、休憩の後、「お母さんの反省で温もりを感じた人」で十人の方が波動の勉強

最後に「ふるさと」の歌となり、「嬉しい人どうぞ……」で塩川さんが筆頭に飛び出され、一瞬のうちに大きな輪が広がりました。

二日目の午前中は瞑想・親睦の時間で、会場やその他思い思いの場所でそれぞれ過ごされました。

午後の波動の勉強に先立ち、幹事長からのお知らせの後、UTAブックの桐生さんから、次回から市販本を書店で購入いただくことが報告され、皆さんのお拍手で了解を得ました。

続いて、田池先生から「昨日の復習です。学びが進むと闇がどんどん出てくる。自分の闇を抱きしめるんです。闇が変わってきますよ。そして、愛に変わっていく。お母さんの温もりです。それが分かるのが瞑想

です。お母さんにしてもらつた一番大きなことは生んで貰つたことなんです」と話された。瞑想の実践ということで、久保秀雄さんご夫妻と娘さんの和恵さんが指名され、塩川さんが意識を出されました。

続いて「田池留吉の意識に合わせたら幸せ」の実践で、塩川さんが異語でメッセージ。先生が「皆さんの思いを今、塩川さんが出してくれたんです。今、私の本当のメッセー<sup>ジ</sup>を伝えられるのは、この人しかいないんです」と話された。その後、「クソ田池！がなかなか出ない」と沖縄の茶山さんが前に出られた。続いて「温もりを感じるが、ちょっと疑問のある人」ということで六人の方が運動の勉強で出られました。

休憩を終えて、「一生懸命やつていいこと自分で思う人」で十六の方が出られました。

三日目の午前中は、田池先生から「田池留吉の宇宙・世界を感じることを信じて、やつていく。人生観、世界観がころつと変わりますよ。それが本当の愛なんです。愛はエネルギーで仕事をします。とにかくお母さんの温もりです。そのためにお母さんの反省ですね。それをしない人は冷たい人です。自分の闇を包むんですよ。どんどん喜びに変わります」と話された。

また、「自分が感じているものが本物かどうかの検証が難しいです。私は波動で判断します」と語られ、「自分では感じる、次元移行も信じられるという人」ということで、各コーナーから五名程度ずつの約二〇名の方が波動の勉強に出られた。

最後に「ふるさと」を歌つて、二日目が終了しました。

三日目の午後は、田池先生から「ふるさと」の歌の輪が広がり、正午に先生が参加された全てのスケジュールは終了しました。

午後は十四時半まで自由時間でしたが、十四時頃までに、皆さん、思い出を胸に秘めて三々五々帰路につかれました。



## ■第四回UTA会の開催状況

二〇一〇年九月十二日から十四日まで、第四回UTA会が開催されました。今年の記録的な残暑の中、七百三十一名を超える多くの方々が参加されました。

で十一月に参加してください。それから、新しい方に受付で出版物の中からお好きなものを三点差し上げますのでお持ち帰りください』等と話されました。

初日は久保幹事長のお知らせの後、田池先生の挨拶で「この学びの本当のことは頭では分かりません。心で分かるんです。そのためにまず、本（『意識の流れ・増補改訂版』と間もなく改訂版が出る『続・意識の流れ』）をしつかりと読んでください。そして、母親の反省と瞑想です。苦しんでいる人は自分が間違っているんですね。なぜ間違っているのか。なぜ生まれてきたのか。本をしつかり読ん

でいいんです。自分を知るのは自分の心を見るしかない。心を見るとは自分の中を見るということです。皆さんは外ばかり見るんです。心を見るために母親の反省と瞑想を焦らず、たゆましく続けてください。今回はお母さんの温もりと自分の闇に焦点をあてて三日間やります」と話されました、「いろいろやつて闇を感じたが、もうちょっと出したい人」ということで六名の方が出られた。

その後、先生の指さしで数組の夫婦や親子などの方々が、会場内を走り回つたり、硬直の現象をされ、先生が「皆さん方の姿ですよ」と話された。

最後は「ふるさと」の歌になり、先生の歌に合わせて塩川さんを先頭に輪が広がっていきました。

続く波動の勉強に先立ち、先生から「人間は意識・波動なんです。波動はエネルギーです。エネルギーは仕事をします。肉のことなど、どう

二日目の午前中は瞑想・親睦の時間ということで、各自会場やその他 の場所でそれぞれ過ごされました。

午後から始まつた波動の勉強では、田池先生から「心で分かるにはどうするか。お母さんの反省です。お母さんにしてもらつたこと、してくれなかつたこと、してあげたことをできるだけ思い出して書き出すんです。その時の思いも書いてください。そして、ゼロ歳の瞑想です。それを続ければ、お母さんの温もりが伝わつてくる。その温もりがあなたです。その温もりであなたの闇を抱きしめるんですよ。さらに大きな闇が出てくる。闇が大きければ大きいほど嬉しくなる。学びの最後は瞑想です。瞑想の最後はへ田池留吉・アルバートの世界に心を合わせる／それだけ

です。田池留吉の世界、それが真実の世界、本当の自分のことなんです。

では、私は田池留吉に合わせて瞑想を続けてきたという人出てください」に十名が出られた。塩川さんから一括のメッセージの後、「それでもとう人、三人だけやります」で、二名が出られ、メッセージを受けました。

休憩を終えて、「母親の反省、ゼロ歳の瞑想を続けて何かしらありがとうを感じ、少しだけれど温もりや闇が出てきたと思う人。最後の最後まで田池留吉に心を合わせていきたいと思う人出でください」に一瞬にして約五十名の方が前に出られた。時間の関係もあり、三十六人目の方が終わつた時点で先生が「時間になりましたので、今日はこれで終わりますが明日残りの人出でください」で

三日目は日程に先立ち、UTAブックの桐生さんから、今秋発売される「その人・田池留吉」のご案内がありました。

引き続き、早速波動の勉強に入り、

昨日の残つた十四名の方が前に出られました。個々の勉強の中で「ゼロ歳に戻る。原点に戻ることが大事です。みんな公平ですよ。全ての人がゼロ歳に戻れるんですよ」「ネコ（禰宜＝神道）もシャクシ（糸子＝仏教）も」等を話された。最後の久保徹夫さんの場面で、お母さんのメッセージと来世のニューヨークでの出会いのメッセージが伝えられると、会場が急激に盛り上がり、最後は全員が総立ちとなつて自然に従来の喜びの輪の状態になつていきました。正午、先生の「今回はこれで終わります。

元気でお帰りください』で、全てのスケジュールが無事に終了しました。

午後は自由時間でしたが、皆さんそれが帰路につかれました。

次に、UTA会に参加された方からのメールを二つ紹介いたします。

▼夫との同室、無理を言つてすみませんでした。夫は自分から五月セミナーに参加した友に、「九月は自分も参加するからね」と言つっていました。セミナー参加の当日、近所の人には「夫婦で出かける姿見るのは初めてやね。手を繋いで歩いて」と冷やかされました。その時、私はさつさと夫の前を闊歩<sup>かっぽ</sup>しています。その言葉でハッとしたしました。夫に従つていつもりでしたが、堂々と前を威張つ

て歩いていたんだと気付かされました。なるべく一緒にと思って歩くのですが、先を行つている私でした。

セミナー会場に近づくにつれて、いろんな人たちと出会つて喜んでいる私を見て、夫はニコニコとしています。

夫はセミナー参加は三回目ですが、夫は二回目と言います。一回目のセミナーは、私の機嫌を取るために参加だったのか、しぶしぶ参加してくれていたんだと思いました。

参加回数を重ねるごとに、夫の顔は晴れ晴れとしているように見えました。セミナーからの帰り道も、後ろの席からず一つと私の姿を見ていたと、嬉しそうに話してくれました。

▼UTA会に参加させていただきありがとうございました。

見知らぬ方々と一緒に宿泊は心細いなあと思つていましたが、とつても楽しく過ごさせていただきました。いろんなことをお聞きしながら勉強させていただき、行つてよかつたなんですが、少し腰を痛めてしまつた

（Aさん）

（Iさん）

て、他の人に席を譲りました。帰つてきて、夫は最後の日は私の横に座ろうと思つていたそうです。そして、「今度の参加のときは、故郷の輪の中に入れるような気がする」と言つていました。

夫の参加をともにして、いろんな私の心癖に気付かされました。本当に、ありがとうございました。

## 会員からのお便り

このコーナーは、皆様とJUTA会を繋ぐページです。皆様の体験談や手記、ご意見などを、お気軽に寄せください！

### ■体験談

アメリカ ウォーレル直子

二〇一〇年四月二〇日

●心の体験、「瞑想は喜びです」

お母さん、田池留吉、アルバート  
に対し、本当の自分に、闇の自分に、  
すべてにありがとう！ ただ、もう、  
無条件に、ありがとう！だけです。

真実の世界の一端に触れさせてい  
ただいていると思える、すごく嬉し  
い体験です。それが、今、やっと初  
めて心で感じて、信じられます。こ  
れを、これからしっかりと確信へと  
繋いでいけるように、心を励んでま  
ります。

お母さん、田池留吉、アルバート  
へ、心より、ありがとうございます。

いた！ 信じられないくらい、喜び、  
喜び、です。

二〇一〇年四月二十四日

●自分の闇を受け入れていこうと  
いう瞑想での体験

「くそ！ くそ！ お前に負けて  
なるものかー！ 今に見てろ！」と

いう復讐心、戦いの心と、「己」一番、  
我に従え、我にひざまずけ、我を崇  
めよ」という支配欲、エゴ等々を、  
今もしつかりと自分の心の中に押し  
込めたまま、苦しい思いを抱え持つ  
ていることを、やはり認めざるを得  
ない。少しづつながら、最近、それ  
らの思いを、母の温もりの中に解放  
していこうという、優しい思いが私  
の心中から出始めている感じが、  
異語を語ろうとする中で、さらけ出  
していこうとする中で、「出ておいで

と、愛しい我が子、長い間押し殺し  
てきて、ごめんなさいという思いと  
思いの中に、懺悔の思いの中にひたつ  
ている自分の心を感じさせていただ

共に、同時に、すごいエネルギーを、さつきの瞑想でも、ひとしきり大声で怒鳴りまくつて、妹Sへの嫉妬心を始め、いろんな人達への似た許せないという思いを噴き出すことができた。「ありがとう。出てきてくれて、ありがとう。共に、一人三脚で、アルバートへの道を歩いていこう」と、誘う思いが自分の心の中に、確かに感じられた。

自分の苦しい闇の思い達へ、優しい誘いを促す、自分の心の変化が、少し感じられて、嬉しい。ありがとう！

●第三回UTA会での体験  
二〇一〇年五月二十五日

今回、第三回のUTA会に参加させていただいて、思いがけない嬉しい成果を感じさせていただいた。

初めての心からの喜びと感謝いっぱいのセミナー参加でした。

やつと今、私の心の学びも、今までの二十年間以上にわたる積み重ねの努力が芽を表し始めたように感じられたセミナー参加でした。本当に、心より田池留吉先生にはもちろん、すべてのお世話してきてくださった方達へ、ありがとうございます！

共に学ばせていただきたいすべての学びの友達に、ありがとうございます。今後とも、よろしくお願ひします。

今回、初めて田池先生からの個人指導としての私の意識、そして、メッセージを受け取り、本当に至れり尽くせりの誠意溢れるご指導に、心より深くお礼を申し上げます。

● 真実に出会えた初体験  
二〇一〇年七月一三日

また、会場での第一番に「今日この頃、嬉しい、嬉しいとなつてきて

今さつきの瞑想で、もう、本当に信じ難い現象、体験が、初めて私も起こつた。

まず、私の心中から、また、いつもの如く「くそ、くそ、くそ！」お前なんかに負けてなるものか！」から始まつたが、それもほんの残りが出てきたという感じで、次にはいつものように、とにかく懺悔、「肉を本物としてきた心が、根本的な間違いだ！」という、懺悔が始まつて、それもすぐに終わって「本当の私は偉大なんです！ 嬉しい！ 嬉しい！」という叫びが、全く初めての現象と、体験とになった。信じられないという驚きとともに、それでもはつきりと自分の心から、しつかりと何度もその思いが叫びとなつて飛び出してきた。そして、何回かその本当の自分の優しさと温もりで、

闇の自分を抱き締めて、抱き締めて、

愛しい我が子という実感で、それは、

それは、本当に初めての嬉しい、本

当の自分との再会、「ひとつ」を自

分と本当の自分との出会いを感じて、

それが実際に私の心中での体験として起こつた！ すごい現象体験だった。もう、私の心中は、上を下への大騒ぎ！ 「ただ、ただ、嬉しい、嬉しい！」 ありがとう、ありがとう！」と、大声で心の底からの喜びが、叫びとなつて、どんどん飛び出てきて、母に、田池留吉に、みんなに、「ありがとう」と、半時間ほど続いた。喜びと感謝いっぱいの、本当に最初の瞑想体験だつた。私は、今、初めて、この心の学びは本当に真実に出会える学びだということを信じ

● 今自分の心を語る  
二〇一〇年八月二十四日

● 今自分の心を語る  
やつと、やつとです」

私が赤ちゃんの時、お母さんの腕に抱かれて、お母さんの目を素直に、一心に見つめている。そういう赤ちゃんの素直な心に戻っていく。その素直な思いで、田池留吉の目を見つめている。今、瞑想状態にいます。

田池留吉の目は、優しい、優しいお母さんの思いです。それを伝えてくれています。「どんな闇でも、出でおいで、出していきなさい。お母さんの優しい温もりの中で、すべて、すべて、出していきなさい」と促しています。

異語が出る。

今、私は安らかに、静かに、自分の心を見つめています。今の心を語つ

てまいります。

私は長い、長い、長い間、この赤ちゃんの素直な心を忘れ去つてきました。

田池留吉の心の学びに就いて、二十年以上が経つた今、その間、たくさんの中のセミナーに出席させていただいても、それでも、この学びを素直に実践するには至つていなかつたと、今、つくづく感じています。

そのセミナーも終了後、ここ二年間に、やつと自分のそんな貧しい心の実態を感じて、初めてこれで心の学びをしたとは言えないと認めざるを得なかつた。自分が甘く、軽くとらえていたことに、気付かされました。

それから、やつと本氣で、初めて、しっかりと死ぬまでこの肉を使って、自分なりに田池留吉の指示してく

れている道を、唯一の本道を、歩んでいかなければ何のために生まれてきたのか分からないと、初めて心で気付かせていただきました。

最近になつて、やつと真剣に、本気でこの学びに心を向けるようになつてまいりました。

私ははずつと真実の学びを求めてきました。私は、たくさんの過去世の転生を通して、ずっと真実を探し求めました。

でも、今世の今、この田池留吉の心の学びに出会うまでは、決して本物には出会つてこなかつた、出会えていないと、そう、ずっと感じてきました。

今やつと、この学びの入り口に立つて、少し、ドアを開けたと感じています。自分の心の中のすごいエネルギーを感じながら、ただ、ただ、

苦しい、苦しい、苦しい中で、やつてこの学びに今世の今、辿り着きました。そう、自分のこの苦しい心があつたからこそ、今、やつと、この真実の学びの入り口に立たせていただいていると自覺しています。

私はそれだけで「本当によかつた」。お母さん、今世、生んでくださつて、ありがとうございます。田池留吉、

真実を指し示してください、本当に、ありがとうございます。私の中の闇さん達、あなた達のお陰で、やつと、やつと、私も、今、ここまで辿り着けました。本当にありがとうございます。そういう思いで、今、この学びのドアの前に立つてている自分の心を感じています。これからです。私も、やつと本道の入り口に立つていると実感しています。足を踏み入れるのは、これからだと、自分で

しっかりと、自分の足で歩いていきたいと、自分に言い聞かせています。

肉の私は、本当に愚かながらも、

それに従いたいと、これこそ私が心

から求めてきたものだという思いを、  
今、やつと自分の素直な心に戻つて、  
田池留吉の目を見つめると、今、自分  
が本物の学びの入り口に立つてい  
ると、実感します。

これから自分の闇に、一つ一つ出

会つて、直面していつて、自分の中  
の優しい温もりでしっかりと抱きし  
めていこう。そして、自分の心で一  
歩、一步、真実に向かつて、本当の  
自分に向つて、お母さんの優しい温  
もりに蘇つていこう。そういう道を、  
これから歩いていこう。自分の多くの  
闇と共に、過去も未来も、今の自  
分と一つになつて、そう、二五〇年  
後のアルバートに向かつて、次元移

行に向かつて、しっかりと歩いてい  
こう。そう心の中から思つてている自  
分を実感しています。

ありがとうございます。ありがとうございます。

す。「すべては愛、すべてよし」とい  
う思いが、いつも、いつも、優しく、  
温かく、心の中に響いてきます。

厳しい道のりだと、険しい道のり  
だと、そう聞かされています。でも、  
もう、後ずさりはできません。

ありがとうございます。

今世こそ、それを少しでも果たして  
いこう。そのようなはつきりとした  
強い思いが心の中から、今、湧き上  
がってきます。

肉は、それに応じて、素直に一つ  
になつて、そう、心と一つになつて  
進んでいこうと、それが、私の幸せ、  
喜び、その入り口に立つていると、  
感じています。

ありがとうございます。



これしかない、このために生まれ  
てきました。このための人生です。

## ■自然治癒力の体験談

### ▼うつ病になつて思うこと

神奈川県 早坂克浩

私はうつ病になり、医者に行くと最初は、精神安定剤等の薬の量を調整する治療法と言つていたが、カウンセラーの人は心の状態など分かるのかと思つていたが、結局、薬の量を増やせば良いと勘違いしている様な気がしてきたので、薬を飲めば良いのかと、最初は飲んで良くなると思つている患者は、薬がないと薬中毒の様になつていました。

と田池先生が消えれば、こんな苦しまなくてすむのではと思った時もあり、でも、これに出会わなければどうなつたかなーと思うと、自分の心を見れば良いのかと思い瞑想してきましたが、未だ喜びは出てこないですが、田池、アルバートと瞑想すると、体が振動しだすのが最近酷くなっています。でも、肉の自分は分からぬが中の意識は喜んでいるのかなーと、瞑想しています。

ひとつ思うには、薬では治らない、自分の意識に会えない限り無理。

### ▼私の自然治癒力の体験談

アメリカ 西田博史

二回目は二十五の時。

無理して仕事をして、自分を顕示するのが好きな、欲々な私は、海外転勤直後、滞在先のホテルで喀血が止まらなくなり、入院。その時の診断は肺塞栓症?とか言うものでしたが、日本に帰つて二十三歳の時。タイ、ネパールを放浪していた時にかかつたA型肝炎。体調が悪いにもかかわらず無理して旅を続け、ようやつと日本に帰つて来た時にはふらふら。ビール瓶色の尿が出るので、病院で検査を受けたところ、肝機能を表す数値がめちゃくちゃ。即、入院となりました。なんでも無頓着で（無頓着なふりと言つた方がいいかも知れません）、その辺にあつた古い水を飲んだのがきっかけだつたと思います。こんな性格なので治るのも遅く、三ヶ月は病院にいました。

二回目は二十五の時。無理して仕事をして、自分を顕示するのが好きな、欲々な私は、海外転勤直後、滞

その頃、田池先生に相談した時もありました。私はよく、このセミナー

入院したことがあります。一回目は

私は若い頃に二回、病気をして死のうがなく、死のうかと考えました。

て検査したところ、結核だと診断されました。昔の文豪のように面白いほど血を吐きました。これは最初のA型肝炎の時もそうでしたが、入院の最初の二週間はとてもしんどく、意識も朦朧としてるような感じでした。その時、ドイツの病院でふと思いました。「今度やつたら死ぬ」。ドイツで何週間か入院し、そして日本でも一ヶ月半入院し、結局退院してもこの性格は変わらず、何度も「このままではやばい、また病気になる」と思いました。結局、会社を辞めました。

会社を辞め、色々悩んでいる時に、この学びに出会いました。もちろん色々な動機もありましたが、私は小さい頃から呼吸器系統の病気をよくしました。風疹に二回かかったりと身体的に免疫力が低いのもある

のかも知れませんが、そう言う以前に自分の気管を締め上げる思いが強かつたように思います。

毎回そうですが、風邪をひいた時には「なんで風邪ひくんだろう？」どんな思いなんだろう？」と思うのですが、なかなか答えが見つからない時があります。馬鹿な私は、「喉元過ぎれば熱さ忘れる」というのを地で行つており、病気が治れば心を見るのを怠つたり、病気になつたらなつたで、また人のせいにしたりしてしまいます。でも実際は、凄い思いを

自分の気管に使つてるのだとと思う時があります。それが結局、肺や他の呼吸器系統に影響し、病気を引き起こしてゐるんだなあと、たまに実感します。いくら医者に行つても「原因不明だ」と言われ、ふとその事に気づくと体が軽くなつて、直ぐに治つ

てしまつたなんてこともざらです。

結局は自分の思いなんだなあと思います。自然治癒力を働かなくするのも…。そういうや結核の時も、「自分が間違つてたなあ…」と思つた途端、急に体が良くなつていったなあ…。本当、自然治癒力が働かないのがおかしいのであって、働くのが当然だと思います。そう思うのですが、いつも風邪をひく私は、何回同じことを繰り返せばいいんだろうなあ…。つくづく愚かな自分だなあと思います。

### ▼あるでき事を思い出して

兵庫県 定永富美子

九月三十日のホームページ（トップページ）を見て、あるでき事を思

い出しました。今年六月の初めの事です。母のいる施設へ昼頃訪ねました。私が着いた時、ちょうど母が医療室に移され寝かされたところでした。熱中症にかかり四十度の熱が出、呼吸も荒く、声をかけても答えられない状態でした。さわるととても熱く、人間の体がこれほど熱くなるとは知りませんでした。それほどびっくりするくらいの熱さでした。冷やしたタオルで拭いてもすぐタオルが熱くなり、いくら洗つてもタオルは熱いました。

その日は医師の往診があつたので、翌日、又出かけていきました。やつと熱は三十九度台になり、呼吸は昨日ほどではありませんでしたが、本人は相当苦しそうでした。でも言葉は少しかわせるようになり、ゼリー状の食べ物も少しだけ摂れるように

なりました。依然として体は熱く、保冷剤をタオルに包んで額や顔、首を冷やし続けました。母は「気持ちがいい」と少しほほえんで答えてくれました。看護師ら、施設の職員達はこのような事はすすんでしないことも分かりました（余談ですが）。母のそばにすわって、時折、母の顔や手をさわって熱いなアー、昨日すぐに入院させてくれた方が良かつたのではないかと内心思つたりしていました。その間もずっと冷たいタオルで冷やしていましたが、体は熱いままで、タオルも熱くなるだけでした。

そして、少したつた頃、何気なく母の顔に手をやりました。冷たい！えつ？ 手も……冷たい！ 何？ あつ、呼吸をしていない！ 全くしていない……内心焦りました。普通肉体をはなしても、しばらくは体は

あたたかいことは知っていました。しかし、さつきまであんなに熱かったのに、氷のように冷たい……そして呼吸も……ど、ビードロ。

看護師さんを呼ばうか、医務室を見ても誰も気付いてくれません。この間わずか一二三分だったと思いません。何かしなければと思いました。その時、心でアルバートと自然に出てきました。助けてくださいといふ思いは全くありませんでした。ただアルバートと思つただけです。小さくつぶやいたかもしません。次の瞬間、母は目を開け、呼吸をしていました。体も手もあたたかでした。ホッとしました。——こんなことがあるのだろうか——家に帰つて思いました。母は、母の肉体細胞は私に何かを伝えてくれていたのだろうか。訳の分からぬ私（肉）は「常にア

ルバートを思いなさい」と言われていたのだと勝手に今まで解釈してきました。それにしても不思議な体験でした。

もし、これが本当に、何かを伝えてくれていたのなら、母が熱中症になつたのも愛、その原因の一つである職員達の不注意——その日は関西で今年一番の暑い日と新聞に載つた日でした——そのような暑い日にもかかわらず、床から天井までガラス張りの部屋の窓際に寝かし、大汗をかいて苦しんでいるのも気付かず、食事も済んで大分たつてから、やつと氣付くという施設の落ち度など、すべてが意識の世界で計らわれていたでき事、筋書きだったと思わざるを得ない……ですよね。

すなわち、すべてが○（マル）

「偶然は一つもなく全部が必然」これはこの学びをしてすぐに教えてもらつたことなのに「これがまだ六月で良かつた。真夏だつたら大変なことになつていた」と胸をなで下しながら、バカな私の肉は性懲りもなく思つていました。

その時の事をありのままに書きました。

#### ▼自然治癒力を信じていきます

大阪府 岡野栄子

私は人、人、人の大勢出入りする商売人の家に生まれ育ちました。人の裏や世間の事、知らず知らず、目に耳に入ります。「強情でどこでも動かん、物を言わない」と言わされてま

した。両親は不仲で、父は恐く、私はいつも神経がピーンと張りつめたように緊張していました。無心で無邪気な時を思い出せません。しそつちゅう高熱を出し、母におぶさり、お医者さんやお祓いを受けに行つてました。いつもビクビクし、不安定でしたが、黙つて普通にしているので誰一人、分からなかつたと思います。非行に走つたり、狂つたり、表に出ればまわりもそれなりの対応もあつたでしようが、この事はずつと長く苦しむ原因でもありました。自分の気持ちなんて考えもしないので、自分の心を正直に、ストレートにあるがままにとか、全く分かりませんでした。

成長するにつれ、人に合わせる、社会に合わせる術<sup>すべ</sup>を身に付けましたが、心の中で矛盾、分裂し、その為、

人と関わると疲れ、何事もうまくいきませんでした。社会に適応せず、自立もできませんでした。小さい頃は、ただ可哀想と思つていた母を、だんだん嫌いになりました。これでもかという程、歯向かい、反抗、反逆、憎しみ、呪い、復讐心、もうありとあらゆる凄まじいエネルギーをぶつけてきました。結婚の時は、爆発しました。

こんなに暴れ狂ついていても、本當は母に恐がらずに、一対一でゆつくり向き合つてほしかった。でも現実は、いつものように、家族親類を巻き込み、大騒ぎし、寄つてたかつてということでした。私はますます意地を張り、閉じこもりました。母と思うと、瞬間に嫌い！いや！でした。狂つた心で結婚しました。主人こそ迷惑な話です。結婚生活がうま

くいくはずがありません。淋しい限りでした。

主人は優しく明るく元気ですが、それは当たり前、ないものねだり、要求ばかり文句ばかりでした。主人も面白くなく、家に寄り付きたくないのも当然、淋しくなるばかりでした。

田池先生に初めてお目にかかつたのは、その頃でした。三十六歳の誕生日でした。最初から「母の反省、心を見つめる」でした。「母」、私は無理と決めつました。とても高度な学びのようで、ちんぶんかんぶん、雲をつかむような感じです。私にはとても無理、それがしみついてしまいました。小さい集まりに行くと、先生がお話をされているのを聞くだけですが、突然、矢が私の心にグサーッと飛んできます。頭をカーンと殴られたり、冷汗、脂汗、たまにジーンと涙が出ます。殆ど、グサーツでした。瞬間、私の心はやり返します。何倍にもなつて返つてくる。もう、喧嘩、闘い、クソ、クソ、死ね、クソ、クソ、悔しいだけでした。心は暴れ狂い、二度と行くもんかと思うのに、また、のこのこ行つては同じ事の繰り返し。いやだとすぐに入から逃げ去る私には珍しいことでした。まりの人は、和やかで楽しそうでした。私は昔から、目上の人には盾突く、反逆、反抗の固まりでした。そんな自分がいやでも、心は自由に暴れるので止められません。素直な人達がうらやましくなりませんでした。先生の優しさは、何とも言えず、今度は依存一〇〇%、他力信仰。私は今尚、田池留吉を呼べず、思えません。

母、主人、先生、まわりの人々、

私は自立できない自分を棚に上げ、依存した相手に、とことんの思いを出し続けました。

セミナーには、行きたいだけ行かせてもらいました。夫婦不調和、子供もいます。経済的な事、色々あるのに、行かせてもらいました。学ぶ

ということより、辛く苦しい日常から離れ、ホッと一息つく、先生の元では平等と思えました。結婚生活は、淋しく悲しく辛く苦しいものでした。私は終始、怒り狂つてました。夫は嘘しか言わないように思え、話もかみ合わず、年月と共に深まる情愛、信頼に程遠く、ふと、「この人と私は本当に夫婦なんだろうか」と思うくらいでした。感謝もなく、ただ不平不満の妻、口から出るのは、「金、金、金」ばかり。夫はいくらでも外に楽しい仲間があるようでした。仕事、

遊び、困っている人のお世話と、忙しく人気者で、家族、家庭は興味がないようでした。現実に、殺し合うことなく、離婚する事もなく、今あるのはセミナーがあつたからとしか思えません。

セミナーが終わるとすぐに、私は狂つた昔に戻りました。人、人、人の事がきつかけでした。何一つ真剣に学ばず、身に付けてこなかった結果です。人、人、人の事で私の心は叫び続けました。「私は、皆のうつぶんを晴らすサンドバックじやない！」

私の事では当然私を攻撃し、主人の事でも私を攻撃し、他の人の事でも私と関わりあるからと私を攻撃する。私は居つたらあかんの？死ねと言ふの？なんで？私だつて傷ついている。シャーシャーとしているよ

うに見えるかも知れんけど、泣きたいくらい傷ついてる」。「でも、どんなにいじめても私は死なんよ。狂つた自分はどんなに時間がかかるっても自分で直す」。心の中で決心し、私は本当に一人になりました。

夫も用のある時以外は居らず、夜は居ませんでした。いいのか悪いのか、淋しいけれど自業自得と半ばあきらめていました。

歩く事、私の唯一の楽しみでした。自然の中をとことこ、どこまでも歩くのが好きでした。ご夫婦で散歩しているのを見ると、うらやましかつたです。淋しさや怒りを食べて紛らわせ、不安定ですから夜は殆ど眠れません。体重を落とさないまま、歩き続けていたので、今年の四月頃、どうとう、ひざが痛くなりました。

「歩き過ぎです。年齢と共に、ホルモンバランスも悪くなります。軟骨が相当擦り減つてるので、まず体操、それで駄目なら注射（たまつた水を抜き、ヒアルロンサン注入）、それで駄目なら、手術して人工関節との診断でした。軽く考え、体操に通っていましたが、甘かつたです。日増しに痛みはひどくなり、やつとやつと日常の事をしております。どこか入院してゆつくりしたかったです。六月のある晩、ついに身体が悲鳴をあげました。両足首、両ひざが痛く、ベッドから足を下ろせません。下半身全く動かせない。「どうしよう。どうなるんだろう。これからどうなるんだろう」。涙がこぼれました。「ああ、これが私の姿、心そのもの。一人で立つことも歩くこともできない」。

子供が主人に連絡してくれ、その後から帰つてきました。主人と他の病院もまわり、整形外科で七月から、注射の治療が始まりました。週に一度を五回、あとは二週間おきです。注射の日は心が萎えます。骨に突きささっているような痛みと、注入した後、身体に異物の入つた何ともおぞましい感覚、夏というのにふるえが止まりませんでした。

何とか歩けるようになつたので、長年、気になつていた人を訪ねました。お互い、いつ死んでもおかしくない年令。生きているうちに会つておきたかったのです。会つただけで、もうお互に終わりました。人、人、人とは言え、元はと言えば、私の心の間違いが作り出した世界です。肉の事とは言え、すつきり学びたかつたです。

やつと、やつと、自分の生き方を振り返る時でした。自分に正直に生きてこなかつた。自分をないがしろにしてきた。自分を粗末にしてきた。自分を閉じ込めて、その上にあぐらをかき、のさばつてきた。もう、嘘の自分に生きるのはやめよう。私は時間がない。

夫がどうのと遊んでいる暇はない。こんな事のために生まれてきたんじゃない。ただ一つ分かつてているのは、自分は永遠に地獄の底の底という事でした。肉すらもです。もう、これからは自分を大切に生きようと思いました。

幸い、ホームページはあり、門は開かれていました。『その人、田池留吉』の最初に、「田池留吉、アルバイトの世界を、波動として、このホームページを通して流してまいります』

とあり、直接指導していただけた。ありがたかったです。「メッセージ70」にゼロ歳の瞑想とあり、来る日も、来る日も、分からぬところはそのままに、ホームページを読み、ゼロ歳の瞑想をしました。鈍感で何も感じなくとも、そうしている自分が嬉しかつたです。

そうしたら、あんなに不安定だった私の心が少しずつ安定しているのが分かりました。狂つてもすぐに、ゼロ歳の瞑想、心が戻れるところができました。いつも不安定なので違ひが分かりやすかつたです。

主人がセミナーに行こうと言つてくれ、私も同じでした。ホームページ同じ様、何もないようセミナーの門も開かれていました。ホームページから思つたこと、「前に出してもらえる機会があつたら、お願ひしよう」。セミナーで出してもらいました。座つて、いるだけで充分でした。約束を果たせたから。母を捨て、好き勝手に生き、ボロボロになり死にかけて、ふるさとの母の元へたどりついだ、悪いお手本のような生き方しかしてこなかつた私を、田池先生は、ただただ温もりで包んでくださいました。セミナーの帰り、あれだけこだわりのあつた先生に対する罪の意識のようなもの、深い溝のようなものが消えていました。片方の他力のほうはそのままでした。ホームページに向かうと、セミナーの時は気付かなかつた事、波動として、心に気付かせてもらうことがありました。頑固で面目というのも、まわりの閉じ込めてきた私との約束でした。素直に教えを乞う謙虚さのない私は勇氣のいることでした。

セミナーで受けました。座つて、いるだけで充分でした。約束を果たせたから。母を捨て、好き勝手に生き、ボロボロになり死にかけて、ふるさとの母の元へたどりついだ、悪いお手本のような生き方しかしてこなかつた私を、田池先生は、ただただ温もりで包んでくださいました。セミナーの帰り、あれだけこだわりのあつた先生に対する罪の意識のようなもの、深い溝のようなものが消えていました。片方の他力のほうはそのままでした。ホームページに向かうと、セミナーの時は気付かなかつた事、波動として、心に気付かせてもらうことがありました。頑固で面目というのも、まわりの人を通し、波動で、肉体細胞からは、「間違つてきました」というもの。衝撃でした。天と地が逆さまだつた。脳天を割られたように呆然としました。先生にひざに手を当てて頂いた時と同じでしたが、その時は全く分かりませんでした。このあと、何となく心が清々しくなりました。セミナーの後、治療は受けず、色々飲んでいた薬も止めました（耐え切れない痛みの時だけを除いて）。欲に欲を重ねる生き方をやめようと思います。傷つけてきたのは、肉体細胞だけではありません。間違つた私の心が作り出した世界がまわりに溢れています。身体も少しずつ回復しています。自然治癒力を信じて生きていきます。ありがとうございました。

### ▼腸閉塞とともに

千葉県 高野篤

私は腸閉塞の持病があります。

腸閉塞は、腸管内腔が何らかの原因で狭窄・閉塞し、その前後が分断され、内容物が通過できなくなる病気です。症状としては、激しい痛みや嘔吐を伴うことが多く、放置すれば大事に至ることもあるようです。

私の最初の発症は、十一年ほど前の三河三谷のセミナーでした。一日目の夜に腹痛を感じ始め、二日目になつて更にそれが激しくなつて、我慢できずに午前中だけで帰宅させてもらいました。激痛で朦朧もうろうとしていて、どうやつて千葉市の自宅までたどり着いたのか、ほとんど記憶しておりません。

腸閉塞の発症要因は多岐にわたるようですが、私の場合は、小腸付近に癒着が見られ、そのために腸管の一部が極端に細くなっていることが、その後の検査で分かりました。二數年前に行つた開腹手術（胆囊ポリープのため胆囊を摘出した）の後遺症というのが、医者の見解でした。要するに私には、腸閉塞になりやすい条件が備わつているということです。

その後たびたび発症するようになりました。起こりやすい条件を持つことは分かつても、何が直接の引き金になるのか、初めは皆目見当がつきませんでした。ただ、自分の中では何となく引っかかるものを感じていたのは事実です。

腸閉塞は、食べた物などが詰まつて閉塞状態になると思われがちですが、必ずしもそうではないようです。私には詰まつたという感じはありません。それよりも前述したように、

それは三河三谷のセミナーで、午後の休憩のとき、廊下に用意されて

冷たい水をガブ飲みした時など、外部からの刺激にたいして自己防衛のために、胃腸が自ら収縮しているという感じ、例えはよくないですが、塩を掛けられたナメクジがきゅっと縮こまる時のような感覚です。

私の場合は特に冷たいものに敏感反応するようです。今は常温以下のものは飲まないよう心掛けています。その他、よく噛む、詰まりやすいもの（例えば糸コンニャク）は避ける、便秘に注意するなど、普段のことに気を配つていかなければならないのはいうまでもありません。

そんな注意を払っているにも拘わらず、腸閉塞は依然として出てきます。むしろ頻繁になり、程度も厳しくなってきている感じがあります。ここ一～三年は年に二回程度、今年

も七月に二週間の入院を余儀なくされました。

### 癒着性の腸閉塞には、完全な予防

法や注意点はないといわれていますが、しかしそれは医学的な知見であって、私の中から返つてくる答えとはまったく別物でした。中からは、「完全な予防法はあなたの中にあるんですよ」といわれます。「あなたには自然治癒力があるんですよ」と返つてきます。それなのになぜ私に腸閉塞が起くるのか……、それはあなたの心が未熟だからです。冷たいからです。肉体細胞に優しくないからです。そのことはあなたの心を見れば一眼瞭然でしょう。肉体細胞の思いを聞けば疑問の余地はないはずです……

自分の心に内在する真実のパワー、自然治癒力、その存在を知りながら、なお発症を予防することができないでいる自分……そんな自分にもどかしさを禁じ得ませんでした。

しかし、その一方でこれでよかつたという思いもあります。腸閉塞は、私にとつてペースメーカーの存在です。一緒に付き添い先導してくれている仲間のような気がします。私の心の実態をはつきりと見させてくれます。心の進展に合わせてハーダルを設定してくれているようにも感じます。

肉体細胞に心を向ければ、「もつと優しくなつてください」の思いが伝わってきます。「私たちはあなたの冷たさに耐えられないだけです」の思いが届きます。すべてが私自身の心の結果であることを知らせています。完全な予防法、解決法は自分がもつともつと優しくなること、温かい人

間になること、それ以外にはないことを私は学びました。

昨年は九月、十月とたて続けに発症しました。これではあんまりだと、医者から手術の提案がありましたが。癒着を解消すれば発症しにくくなることは間違いありません。但し、手術には再発のリスクが伴います。いつ再発するか予測できないこともあります。あって、医者もこれまであまり積極的には勧めなかつたようでした。私の中にも当然抵抗感があります。しかし、激痛に苛まれる苦痛や妻への負担（病院通いだけでなく、朝夕の犬の散歩などが一気に被さる）、いずれ手術することになるなら体力があるうちにという思いなど、あれやこれや家族とも相談して、最終的には「今度起きたら手術する」ということを

受け入れました。

そして、今年の七月、いよいよ手術ということで、覚悟を決めて入院しました。担当も外科医に変わつてしましました。ところが、その結果は手術中止でした。造影検査で閉塞箇所が確認できなかつたのです。勿論、癒着が改善されたわけではなく、ただ単に検査時点で閉塞状態が解除されただけなのですが、いずれにしても、その場所が確定できなければ手術することはできません。

確かに私は、腸閉塞といいつ爆発するかも分からぬ不発弾を抱えています。しかし、それは私の心を見るための教材として働いてくれています。その思いを通して、心の間違いに気づかせてくれます。

それを医者から聞かされたときは本当にホッとしました。ありがたいと思いました。手術は認めざるを得なかつたものの、内心忸怩たる思いでいっぱいだつたのです。

「あゝ、苦しい、苦しい、苦しい。あなたのその冷たさが苦しくてなりません。耐えることができません。もっと優しくなつてください。私たち

自然治癒力の愛を、パワーを、その

素晴らしいを、自ら実証していくためのチャンスに巡り合うことができました。発症間隔を一年、二年、三年と延ばしていくことができれば、それは私の心の成長の結果と受け止めてもいいのではないでしようか。

手術をしていたら私は自然治癒力の、田池留吉・アルバートの世界の証しになることはできませんでした。

確かに私は、腸閉塞といいつ爆発するかも分からぬ不発弾を抱えています。しかし、それは私の心を見るための教材として働いてくれています。その思いを通して、心の間違いに気づかせてくれます。

「あゝ、苦しい、苦しい、苦しい。

あなたのその冷たさが苦しくてなりません。耐えることができません。もっと優しくなつてください。私たち

ちを苦しめないでください。私たち  
肉体細胞はあなたを一生懸命支えて  
います。どうかその思いに気づいて  
ください。手術は止めてください。  
もうこれ以上私たちを苦しめないで  
ください。」

手術しないで本当によかつた、今  
の私の率直な気持ちです。肉体細胞  
にたいして、ごめんなさいとありが  
とうでいっぱいです。

私は、腸閉塞という病気を通して、  
病気がどんなに愛として存在してい  
たか、喜びとして働いていたかを知  
ることができました。病気とは闘う  
ものではなく受け入れていくもの、  
その言葉が心に沁みます。本当にそ  
の通りでした。



私は、宇宙という自然治癒力、  
自然治癒装置の中につぱりと包ま  
れています。自己再生システムの中  
で愛され、生かされているといつて  
もいいのかもしれません。そのこと  
に感謝し、そのことを喜びながら、  
私はこれから的人生を、癒着とともに  
に、腸閉塞とともに、アルバートを  
目指して、まっすぐに歩いていきた  
いと思います。まだまだ先行きは未  
知数ですが、その思いを心に刻んで、  
瞑想、反省に力を注いでいきます。  
ありがとうございました。

この学びに出会っていなかつた  
ら、私は、また人生を悔い死んでいっ  
たと思います。  
苦しい人生しか歩いてこなかつた  
転生の数々でした。田池留吉に出会つ  
て始めて、人生は喜びだつたと実感  
すると同時に、実際、人生が喜びになつていきました。

▼この学びに出会えて  
アメリカ 三枝京子

■手記

アメリカ 三枝京子

それは、瞑想と反省を繰り返す中  
で、段々と深まり、広がつていきました。  
母を嫌い、母を憎み、自分自  
身をないがしろにしてきた私でした  
が、結果、今世ほど幸せな人生を私  
は歩いたことがありません。大好き

なニューヨークの地に住まわせても  
らい、心の中の思いの従うままに生  
きていいっています。そして、私の中  
では、もう来世がすでに心の中で現  
実となり、喜び喜びでいます。

真実が分からぬほど、苦しい人  
生はなかつたです。自分が何の為に  
産まれ、そして、死んでゆくのか。  
人生とは何なのか。神とは……等々、  
心の中でくすぶり続けた数々の疑問  
は、既に私の心中では明確になつ  
ています。

そして、やつと今世、私はこの肉  
ではなく意識であつたと、信じるこ  
とが出来ました。私は、遠い遠い宇  
宙の果てから、田池留吉を目指し、  
田池留吉を殺しにきた意識でした。  
自分の中に大きな闇を抱え、それで  
も、己が正しいと、田池留吉に徹底  
抗戦を掲げて、宇宙の果てから、こ

の三次元に降りてきました。私は、  
私の宇宙を掲げています。

でも、一〇〇〇年から、このニュー  
ヨークから通い続けたセミナーの中  
で、自分は間違つていたことに気付  
かせて頂きました。あれほど、己が  
正しい、己が何ほどのものかと、掲  
げてきた私でしたが、セミナーの数々  
の現象を通して、また、反省を通して、  
間違つていたのは、この私だったこ  
とに気付いたのです。

人生は、苦しみでしかありません  
でした。肉で、どんなに満たされて  
も、私の心は一時として心から満足  
することはありませんでした。それ  
は、今世に限らず、私の過去世達も  
同じだつたと、過去世達が私の心の  
中で語りました。

一度きりの人生ではなかつた。私  
と言う本質は、何度も肉をかえ、真  
全て全て自分で計画してきたこと、  
一言で言えばそうなりますが、この

実に巡り会う為に、転生を繰り返し  
てきたことが、心の中で明確になり  
ました。田池留吉に初めて出会つた  
時の先生の一言で、この人はただの  
人ではない、私の苦しみ、私の全て  
をこの人は分かつてくれている……  
と言うことが、一瞬にして私の心に  
きました。それは、不思議と言えば、  
不思議ですが、私は、そのような人  
生を既に歩いていたので、出会うべ  
き人に出会えた、という安心感のよ  
うなものが、始めからありました。  
あれから、何年……セミナー、セミ  
ナー、でした。

全てが、協力してくれました。私  
の宇宙が協力してくれました。私の  
目覚めが大切だつたから、宇宙がこ  
ぞつて、協力してくれました。……

ニューヨークから、年間五～六回と通い続けることは、普通から言えば出来ないことだつたと思います。でも、私の心は、セミナーにありました。やつとやつと、一番大切なことに出会えた、だから全てが、当然でした。私の人生は、出会う前、出会った後、そして、今と、全く違います。

人生は、喜びであった。そして、人生が、私の周りで喜びとして展開していっています。本当に天気でさえ変わってしまいます。全て全て田池留吉、アルバートのお陰です。私は、生きていて良かつた。アルバートに出会えて良かつた。

何もかも、何もかもが消えてゆきます。でも、私の心中で全てが甦ります。愛が何なのか分からなかつた。でも、今は、私の心中で愛がしっかりと、根づいています。お母

さん、ありがとう。肉体をいただけだから、私はこの学びをすることが出来た。今世ほど大切な肉はなかつたです。……そして、今、私の心は、来世、そして、宇宙へと向かっています。まだまだ宇宙の果てで苦しんでいる意識が、私の心の中に存在するからです。

### ▼今、思うこと

広島県 江本隆

これが、次元移行だつたんですね。アルバート、ありがとうございます。私はあなたと、共に歩いてゆきます。ありがとうございました。

でも、私は、今世、一番大切なことを始めました。だから、後は、続けてゆくのみです。来世が待つている、ニューヨークが待つている。いえ、私は、私の来世、そして、ニューヨークと、共に生きています。心が広がつてゆきます。宇宙の果てまで広がつてゆきます。心が広がつてゆきます。

みんな、みんな共に帰つてゆこう、アルバートと共に、アルバートの元に帰つてゆこう。そこには、愛しか

存在しません。その時、肉は既になくなつていました。

現在、精神病院に通院をしています。不安神経症から始まり、パニック障害を経て、今は、うつ病の治療をしています。途中、安定剤・睡眠剤の飲みすぎで椎間板ヘルニアが三カ所も出て、その治療を週に三回の通院が、毎日の日課みたいなものです。

セミナーに行きたくても、現在、

生活保護を受けた生活で、経済的余裕はありません。

田池先生から、CDをいただきました。とてもびっくりしましたが、嬉しかったです。

去年、父が他界しました。とても元気でしたが、あつという間でした。

私が、精神的に不安定になつて、六月～一月まで実家の山口に帰り、母と父と三人の生活でした。翌年の一月、急になりました。「母が、隆が帰ってきて、父さんがとても喜んでいるよ」と顔を見るたび、口癖のようになつていました。母も嬉しかつたのでしょうか。

た。

ちょうど帰つた頃は、少し痴呆が進み、とても穏やかでした。

デイサービスの送り迎え、毎日の入浴介護、歩行器を使っての散歩の付添と、一通りの親孝行が出来、私も本当に充実した穏やかな日々でした。

た。

私が椎間板ヘルニアの治療のため実家を離れ広島に帰つたため、氣力が萎えたのかもしれません。

父の葬儀は盛大で、お寺のお坊さんが来て、御経をあげました。

学びに出来、何が一番良かつたかというと、父に感謝出来た事です。

はつきり言つて父は嫌いでした。

その頃、叔母の勧めで、立正佼成会に家族で入会しました。見たことのない人達が、家に来て御経をあげて

ていました。経理課長がお金を持ち逃げしてしまい、倒産しました。

倒産してからの父は、毎日が、酒を浴びるように飲み、意識が全くなく、別の人格になつたように家の中はめちゃくちゃで日本刀を振り回す姿は鬼のようでした。酔いがまわり、別の人格になると、母は子供たち全員を車に乗せ、親戚の家へ避難する毎日でした。子供たちをお風呂に入れていた時、母がつかまり、顔は腫れ上がり誰かわからぬほど暴力をふるわれ、母が風呂場にいる子供たちを守るため、必死で体を張つている姿が思い出されます。

脳梗塞を十数回繰り返し、入退院も終わり、家で母と一人暮らしでし

いました。裏山に沢山椅子を並べ御供物をささげ、山の靈を鎮めるためだつたようです。この山の上に無縁仏が沢山あり、山を削り真砂土をダンプで運んでいました。その時に人骨があふれ出たのです。

この山は四軒の持ち山でした。その骨をお寺に持つていくと、お坊さんが一週間後に交通事故で死に、我が家は倒産、他の三軒の家族もトンネル内で生き埋めになる、近くのビルから飛び降り自殺、畑で灯油をかぶり焼身自殺した者や、ことごとく一家が断絶していつたようです。

そのことが立正佼成会に入れば助かると思ったのでしょう。私も連れて行かれ、小学五年生で少年部に入り、学生部、青年部に入り、この学びをするまで家で御供養をやり続けました。

今考えれば本当に愚かなことです。が、それしか知らなければ、すがつて、祀つて、自分だけは、の欲一杯の世界でした。「大難が中難に、中難が小難に、小難が無難に」を信じて、御経をあげ続けました。

方位や占い、手かざし、宇宙のパワーに至るまで本気でやり続けました。ナポレオンヒルに始まり船井幸雄、様々な自己啓発書、精神世界書を読みふけり、本気で一〇〇歳まで生きられると信じていました。

この学びに触れたあとでさえ、高橋信次のホームページを見つけ、こつちこそ本物のエルランティに間違いないと講演会ビデオ、音声ファイル、著書も読みふけり、聴き続けました。納得できる事もあり、納得できない事もありました。

その後、新しい人の勉強会全部と瞑想会、第一回UTA会に参加しました。仕事は自分のペースでできる仕事でしたので一日中セミナーの音声ファイル、著書の音声版を聞いていました。もちろん、お酒もたばこ

ムページ、セミナーの音声ファイルをいくら聞いても嘘くさく、確信が持てないまま、だらだらと眺めました。

エル出版から出ていた本もほとんど読みましたが、家族の反対もあり、なかなかセミナーに行く運びとはならず、二年が過ぎ、一二月の最終セミナーに一回だけという条件でセミナーに行くことが出来ました。

『意識の流れ』『ありがとう』を読み、瞑想もして行きましたが、あまり心に響くこともなく、セミナーが終了しました。

その後、新しい人の勉強会全部と瞑想会、第一回UTA会に参加しました。仕事は自分のペースでできる仕事でしたので一日中セミナーの音声ファイル、著書の音声版を聞いていました。もちろん、お酒もたばこ

も吸いませんでした。

一日中、ぴょんと跳ねると「ふわあー」と体が浮きそうなほどバラ色に輝いていました。

ただ、お金が絡むことを考えると胸がざわざわしました。

少しでもと、欲な気持ちが出てしまった、なかなかお金は難しいものだと思いました。

息子と出席した瞑想会で初めの瞑想の時間、体が急に反応し、口から異語が飛び出し、体が反応しました。

自分は出来たと有頂天になつた結果、残りのセミナーでは異語が出ることも、体が反応することもありませんでした。田池先生が「欲と私は合わない」とよくおっしゃつていましめたが、本当にその通りだと思います。

その後、妻の浮気相手を捕まえ慰謝料を分捕りました。

その頃から、体がおかしく、だるい・やる気が出ない・体が動かないなどで、仕事を辞めました。その時も会社を相手取り、退職金をたかりました。

その後、精神科を受診するようになり、生活保護のお世話になり、時間は一杯あるのに学びは一向に進まず、薬は増えるばかり。

飲まなかつたお酒、吸わなかつたタバコと、もう田池先生の教えとは全く逆を走っています。あちらこちらにクレームをつけ、高額な商品を受け取り。

やつてていることはヤクザと変わりありません。

セミナーに行きたい。  
セミナーに行きたい。

今は、それだけです。

### ■感想文

▼テレビ番組を見ていて

大阪府 垂水とみ子

八月一日、この学びに集つて十七年の学びになりましたが、昨日、プロレスのテレビ番組をちょうど観戦していて、カンボジア地方のほうにプロレスの方達が四人、その土地に遠征に行かれまして、何もない小学校に行かれて、何をしたならば子供達が喜んでくれるのか、縄跳び、赤白の玉入れ、徒競争、何が好かれるのかと計画されていました。喜びの少ない子供達に好かれるものをとうございました。

度々、私もこの番組を見ています  
て、何気なく見ている私の心から、  
涙が、次々と、涙がたくさん出て、

私の今までの冷たい心を感じて、自  
分の心で、命をくれた過去世の方々  
にごめんなさい、命に「ありがとう  
ございました」、そんな思いが湧き上  
がつてきました。

昨日は、母の反省をしていくこと  
が、自分にありがとうございました  
ということだと思いました。

プロレスを、「カンボジアの子供達  
に見てほしい」と鬨われ、子供たちも、  
その思いに応えるように喜んでいま  
した。

この学びにありがとうございます  
た。ありがとうございました。

### ▼頂いたメールより

● UTA会だより、UTA会セミ  
ナーと、お世話を頂いておりますこ  
とに感謝をしております。

『UTA会だより第一号』をお送り  
くださいまして、ありがとうございました  
ました。

メッセージ25に、『あなた、この  
まま死んでいいのでしょうか』  
の154～158ページを心で読ん  
でくださいという文面で、また、そ  
の本を取り出して、そのページを開  
けましたところ、忘れておりました  
が、私なりに心に感じていたのでしょ  
うか、文面の六カ所に傍線が引いて  
ありました。

再びそのページを読み始めると  
も涙が止まらなくなり、その日は  
五月のセミナー会場でいち早く購入

本を思い出すだけでも涙があふれる  
始末、肉では鈍感だと思つております  
して、でも、焦らないでという言葉  
で自分なりにやつておりましたが、  
これほどまで、中の意識の必死な思  
いを感じさせていただきましたのは、  
初めてのことでした。

態度、言葉でなく、自分の中にあ  
る優しさ、温もりを信じれば、自然  
と喜びで生きていけると伝えられて  
おりましたことに、『意識の流れ』の  
本との出会いで学びに繋がった私は、  
毎日、毎日が生きている喜びで過ご  
させていただいております。  
本当に、ありがとうございました。  
(Kさん)

●いつもお世話になり、ありがとうございます  
うございます。今日、本が届きました。  
五月のセミナー会場でいち早く購入

させてもらい座右の銘としています  
が、UTA会から届く郵便物はただ  
うれしく、なんだかふるさと宅急便  
みたいですね。（Oさん）

●お世話になっています。これか  
らも、よろしく頼みます。少しずつ  
勉強がやつと嬉しくなりかけていま  
す。田池先生に香世さんにありがと  
う。さようなら。（Tさん）

●「新刊本『その人、田池留吉』  
のお知らせ」

このお知らせ自体が、すんごい  
れしかったです。ありがとうございます。  
いつもお世話になっています。

（Yさん）

**【体験談・感想文の募集】**

UTA会では、この学びに出会って、田池留吉に出会って等の体験談（手記）  
やUTAブックから出版されている本を読んでの感想文などを募集しています。

また現在は、「自然治癒力」ということで、皆さまの病気を通してこの学びを  
実践された体験談も募集しています。

頂いた原稿は、このコーナーなどで皆さんに紹介していく予定です。

原稿は、下記UTA会の原稿受付専用メールアドレスまで、Eメール、または  
Eメールの添付として送っていただければ助かります。もちろん、郵送でも受け  
付けいたします。

**【メッセージの募集】**

また、UTA会のホームページでも案内していますが、UTA会では毎回テー  
マを設け、日々の瞑想を通して皆様が受けたメッセージや、そのときの感想をお  
寄せいただき、同じくこのコーナーで発表していきたいと考えています。

現在のテーマは、UTA会のホームページでご確認ください。

文字数は1,000字前後で、お願ひいたします。体験談や感想文と同じく、原稿  
受付専用メールアドレスまで、Eメールでお送りください。

たくさんのご応募、お待ちしています。

**【送り先】**

原稿受付専用メールアドレス：[info@utakai.net](mailto:info@utakai.net)

郵送での宛先：〒819-1136 福岡県糸島市美咲が丘2-5-1

UTA会 中村康一



# メッセージ

いると解釈できると思います。

それだけのエネルギーを、人間は、

UTA会のホームページに掲載しています『私はあなた、あなたは私、ひとつ』のメッセージ、二七から五〇までです。

二七、秋葉原の無差別殺傷事件から、

一年が経つたという報道に触れ、別

にこの事件だけが特異のケースでは

ないけれど、人間の心の暗闇の世界

を思いました。幼少時代のことや、

当時の心の状態を振り返っていると

のことですが、本人にも、動機の解

明はできないだろうと思いません。色々

な社会等に対する不満はあつただろ

うけれど、そんな単純なものではな

いと思います。そして、それは、決

して他人事ではなく、条件が揃つて

いけば、心の底に眠るエネルギーは、

例えば、あのような形となつて暴発

していく危険性を、誰しもが持つて

行く末に、汲汲とするだけの人生だつたでしよう。

一体何のために生まれてきたのか、無念のうちに生涯を閉じていくことだけは、今世、お止めください。

どんなに愚かでもいい、ただ自分に誠実に生きてください。

二八、肉に流れながら、決して流さ

れない生き方ができれば、もう我が

行く末に、安心立命でしょう。自分

の姿、自分の存在、はつきりと心に

感じてくれば、これから描くシナリ

オは、完全に喜びの道、ぼくしんです。

私は、瞑想をすれば、思いを向け

れば、そのことが心に響いてきます。

だから、肉は、淡々と日々の生活

を送ることができます。

そうでなければ、今頃は、まだお

そらく、我が身の安泰を願い、我が

二九、切なる思いが心に響いてくれ

ば、肉の生活は、きちんとします。

道徳や規律などで、自分を縛らなく

ても、肉がどのように動いていくの

か、自然のリズムに沿つた形をとつ

ていきます。

切なる思いが心に響いてくれば、自分は何のために生まれてきたのか、何をするために生まれてきたのか、どう存在していけばいいのか、そういうことが、自ずと分かつてきて、

自分と自分の他には、何も存在しないことを感じます。それが、田池留吉、アルバートとひとつ、私達はひとつ世界です。ひとつに溶け合う喜びは、決して肉では分かりません。

三〇、本当の優しさは、眞実を知っている心に裏打ちされます。だから、本当の優しさは、厳しさを伴つてきます。

自分に優しいというのは、眞実を求めてやまない本当の自分に眞実に、そして、真摯に応えていく優しさを言います。

肉の優しさに慣れ親しんできた心が、その優しさと厳しさを分かつていくことは、難しいです。難しいというよりも不可能です。

不可能なことを可能にするために

は、どれだけのエネルギーを必要とするのかということでしょう。そして、もちろん、そのエネルギーを充分に受け止めていけるだけの肉の体力、気力が必要ということにもなつてきます。

三一、波動は正直です。今、私は、その勉強をさせていただいています。

意識を向ける、波動を感じる、そして、それを言葉に置き換えてみると、今現在、「あなたの意識です」のところに、掲載している通りです。

お分かりのように、その人を特定しているようでしていません。

「あなたの意識です」とあります  
が、すべてに共通する意識の世界です。

こようとも自由ですが、それが喜びに繋がつてこなければ、自分の基盤は肉だと思ってください。  
もちろん、肉を基盤として喜んでいるという場合も充分あります。  
少なくとも、反発、軽視、無視、そういう類の思いが出てくるならば、おそらく、あなたの学びの方向は完全にズれていると思っていただいていいかと思います。

おそれく、あなたの学びの方向は完全にズれていると思っていただいていいかと思います。

三二、意識の流れは、あなたの心で感じる波動の世界です。

正しい手順に従つて、自分の中を見つめていけば、自分の中の切なる思いに触ることができます。いいえ、切なる思いが、ドーンと響いてくるのです。その思いが、自分に肉を持たせたと心に響いてきます。

読まれて、どのような思いが出て

そうなつてくれれば、嬉しいとか、ありがたいというか、だから、あとの肉のことは程々でいいと自然になつてきます。

程々でも充分楽しい、それよりも何よりも、自分のこれからることを思う時、何とも言えない喜びと幸せを感じてきます。

それが、自分の本質に触れていくということでしょう。自分の行く末には、間違いなく喜びと幸せが待っている、そのために今がある、いいえ、喜びと幸せの今があるからこそ、これからもそなんだ、意識の流れを心で感じていけば、そう確信していきます。

三三、自分の中の流れを変えることは、並大抵の思いではできません。

意識の流れは、言うまでもなく、自分の中にあります。その流れを感じ、その流れに融合していく難しさは、学びの時間の長い人ならば、実感されていると思います。

流れに逆らつてきたのが人間です。肉を基盤とする意識です。流れに逆らつてきたことを、今、肉を持つて、それぞれの環境の中で知つていいこうとしているのです。それぞれの今の環境は、最高の状態です。さて、自分はそこから一体何を感じ、自分に何を伝えていくのかということでしょう。

三四、田池留吉、アルバートに心を向けたときの私の思いを綴ります。参考にしてください。

異語。

はい、私は、塩川香世の意識でございます。

田池留吉、アルバート、私は、田現に、地球上において、天変地異を何度も体験してきたけれど、それでもダメだったのです。

だから、これから、宇宙を含む大規模な天変地異を経ることによつて、自らを目覚めさせようと計画しているのです。宇宙のもくずとなるか、それとも……という時期に、すでに突入していることを伝えます。

界は、田池留吉、アルバート以外にはありません。アルバートを求めて、求めて、求めてきた転生を感じます。過去から、ずっと、ずっと、真実の私を探し続けてきたこの意識の世界は、今世、アルバートを知りました。

何がどうあるとも、アルバート

を求めてきた意識でございました。その思いは、とても強いです。このように思いを語らせていただけることが、とても幸せです。

田池留吉という肉を持つた意識に思いを向けさせていただいています。塩川香世という肉を持つた意識は、田池留吉という肉を持つた意識に思いを向けさせていただいています。私達はひとつを感じています。

心に一つを感じています。ああ、二五〇年後、その一つが爆発してまいます。私達は、一つでござります。

強いです。私は、あなたとともに肉を持つ意識でございます。必ず、あなたと出会うことを、約束してきた意識でござります。

私は、私に証明しているのです。これだけの力強い証明はございません。自分が自分に証明しているのですから。

私は、あなたとの出会いを果たしてまいります。アルバート、あなたに出会うために、私は、今世生まれてきた、そして、二五〇年後、生まれてくるのです。

度も、この肉を通して伝えています。だから、私も肉を持つてまいります。この思いは、誰よりも、誰よりも、強いです。私は、あなたとともに肉を持つ意識でございます。必ず、あなたと出会うことを、約束してきた意識でござります。

私の喜びは、半端ではありません。だから、肉体細胞を大切にしています。肉体細胞がなければ、私の思いは、伝えることはできない。

地獄の奥底から生まれてきた思いを、この肉に伝えるために、私は、今、ここに存在しています。半端な思いではありません。他力信仰を繰り返してきた意識など、私の思いは分るはずはないのです。私は、そのことを、少しでも、知つていただきたい。半端な思いで伝えるものではあります。このことを受けていくために、それなりの準備が必要だと、私は、伝えています。アマテラスも何かも、私の中では、ちっぽけになっています。アマテラスのエネルギー

など、私の中では、ちっぽけなエネルギーです。宇宙を支配してきたア

ルギーと進んでいます。

マテラスです。そして、もつと、もつと、大きなエネルギーも、宇宙の中にあるのは、知っています。

しかし、私の目指す宇宙は、そんなちっぽけな宇宙ではありません。心をアルバートに向けていけば、分

ります。私の中では、アルバートも、

もはや、その言葉を口にすることも、もう要らない時期が来るようになります。

二五〇年後が楽しみです。今世の私、この時間、十年、二十年、三十年、私は、私の中で、喜びを存分に感じていきます。そのため、肉は、準備を万端整えています。誰にも邪魔されない私の中の喜び、アルバートを思い、二五〇年後を思い、次元移行を思い、その先を思う私の計画は、

ことごとく潰していくのが、肉とい

う思います。肉という壁は、そんな

に容易く崩れ去るものではありません。まさしく未曾有の天変地異が、

唯一最大のチャンスです。もうこれ

はあります。年老いて死を迎えるのは、肉の法則で、何の不思議もありませんが、若くて死んでいくには、それだけの理由もあり、意味もあります。

病死にしろ、事故にしろ、その他

三五、死は、突然やつてくるものではありません。年老いて死を迎えるのは、肉の法則で、何の不思議もありませんが、若くて死んでいくには、それだけの理由もあり、意味もあります。

諸々の災難にしろ、若くして、肉の命を落とすことは、確かに周りに与える影響は大きいです。もちろん、自らの命を絶つということになれば、そこには例えようもないほどの暗闇の世界が広がっています。

そこに投げかけられた現象を通して、人の命、人生、自分というものの、家族の存在等々を見つめ直す大きなチャンスですが、そのチャンスを、

三六、学びから去っていく人が、これから増えてまいります。今世、千載一遇のチャンスを自分に用意しながら、そのような結果になっていくことは、大変残念ですが、それもそれぞの選択です。再び、二五〇年後に合流すればそれもよし、そうでなければそれもよしです。

それとは、逆に、これから転生を経て、二五〇年後に歩みをともに

する意識達との出会いも感じています。

どちらにしても、私には、大変楽しみなこれからです。

これから大きな喜びを伴う展開を前に、私は、私の予定を淡淡となしていくだけです。

三七、出会いをありがとうございます。心から感謝です。

響いてくる思いは、確かな喜びを伝えています。そして、その思いとともに時が流れていきます。

思えば、嬉しい。思えば、確かに存在がここにある。

時空を超えてやつてきて、そして、再び時空を超えていく、その時が間近に迫っています。

肉を持つ時間を大切にしよう、来

世の私からのメッセージです。

肉を持つ苦しみから肉を持つ喜びへ瞬間移動することが、来世の私は待ち遠しいようです。

三八、U、T、A、文字通り、UTAを心で感じる喜びに、あなたもその第一歩を踏み出してください。

U、UFO。T、天変地異。A、アルバート。

二五〇年後に至る大きなキーワード。そのキーワードを大切に、これからあなたの時間を使つていきましょう。

たくさんの私達の仲間、UFOとともに次元移行していくときを楽しみにしています。

四〇、UTA会、楽しい時間がありがとうございました。

時の経つのは速いです。皆さんと

三九、学びの土台は磐石です。

あとは、UTA会という仲間達の親睦の時間の中で、一人でも多くの人が、自分の生き方の方向を変えていこうというふうになられたらしいなあと思つています。

いつまでも苦しみ、悩み、愚痴を言うときは過ぎました。

自分の行く道の方向をきちんと定めるために、今の時間、貴重な時間があることを喜び、喜んでこれからこの間に臨んでいこう、それだけでいいのです。

その思いを確認するために、どうぞ、UTA会に集つてきてください。

たくさんの私達の仲間、UFOとともに次元移行していくときを楽し

別れて一週間が経ちました。

す。

そうやつて、あつという間に

二五〇年後を迎えるのですね。

ひとつの大きな転換期を迎えるこ

とに、ワクワクしています。

その時には、もうすでに海の底に

沈んでいるでしようが、昔、昔、と

もに学んだ場所を、互いに思い起こ

すことができれば、なおいつそう喜

びが増していくでしよう。

私は思い出します。はるか海の

彼方に沈んだ場所を懐かしく、愛し

く思い出します。アメリカ、ニュー

ジャージー、ハドソン川とともに、

私の最高の場所でした。

私は、確かに自分に目覚めました。地獄の奥底の底を這いずり回つてきました。自分に目覚め、そしてそこから、一気に浮上することを成し遂げました。二五〇年後の来世は、その総仕上げです。

真っ黒でどうしようもない意識だと目覚めたから、もう絶対に後戻りはしない決意で生まれてきたのです。

後戻りをするということは、私は、もう何にもない、未来永劫暗黒の中に沈む意識、私は、その思いを持つて、今世に臨んできました。

自らの軌道を変えていくことを、自分に誓った思いはすごいです。

私は、自分自身を感じて、つくづくそう思っています。

その結果、未来永劫に続く私の道を確かなものとして、今、ここにあります。私は喜びです。

第二の人生に差し掛かっている人、たくさんいるでしよう。

本気に学びを始めてください。

四一、勘違いなさらないでください。

目覚めとは、真っ黒でどうしよう

もない自分に目覚めるということで

四二、この学びを本気で始めてみよ

四三、私は、今、自分の来世にどん

う、本当に自分の軌道を見つめ直してみよう、まずはそこからです。自らの決意、決断なくして、何も変わらないです。

いくらか互いの関係が良くなつた、心が軽くなつた、学びの過程ではそういうこともあるでしよう。

しかし、そんなどころではあります。

せん。それらは副産物に過ぎないです。

う、本当に自分の軌道を見つめ直してみよう、まずはそこからです。自

らの決意、決断なくして、何も変わらないです。

う、本当に自分の軌道を見つめ直してみよう、まずはそこからです。自

らの決意、決断なくして、何も変わらないです。

どん思いを向けています。私の来世は、二五〇年後です。二五〇年後の私から、伝わってくる思いを心に感じています。当然、そこには、アルバートが現実という世界が広がっています。

あなたも、ご自分の来世に心を向け、来世のご自分から、今世のご自分に向けてのメッセージを受けていつてください。

もちろん、メッセー・ジと言つても、具体的に日本語で語れなくても大丈夫です。そんなことにこだわらず、瞑想をして、心を向けて、過去も今も未来も、今の一点にあることが、心に感じられたならば、それでいいのです。

私は、二五〇年後の私、今の私、過去からの私、もちろん、UFO達とともに学んでいる感覚があり、と

でも嬉しいです。  
学びは進化している、はつきりと  
そう感じられる今、ともに歩む喜び  
を感じていきましょう。

**四四、来世の喜びは、計り知れないほどの大きさです。**その喜びの来世から、私に伝えてくるのは、どんどん田池留吉、アルバートに心を向けていきなさいというメッセージです。

**四五、あなたの来世に思いを向ける**ということは、あなたがこれから肉を置き、そして、二五〇年後に至る間に、心を向けてくださいということです。その間、あなたは、いつたいどのように存在しているのでしょうか。

二五〇年後に出会いましょうの合

言葉は、今、しつかりと自分を見つめてくださいというメッセージです。

今世、田池留吉の肉と出会えているということは、どんなに凄まじいエネルギーの中に、自らを沈めてきたかということです。

んできた思いがとても強くあって、その意味するところを、さらに自分で解き明かしていく喜びを感じています。

私の中には、アルバートを待ち望

私は、瞑想をして、そう感じています。そして、その思いこそが、私の原動力だ、だから大きな喜びだと、感じています。

#### 四六、私は、アルバートです。

私は、今世、田池留吉のもとに集つた人達の思いを心に感じます。

どうぞ、どうぞ、二五〇年後、私のもとに集つてきてくださいという思いを、伝えています。

厳しい転生だと感じます。それぞれの意識に心を向けるとき、ああ、それぞれが厳しい転生を自分に予定しているのだなあと思います。

それは、しかし、自らを正しい道筋に導くために、自分で用意してきました計画だということを、それぞれが心で知つていてください。

どうぞ、喜んでその道を歩いてきてください。

田池留吉のもとに集いし人達よ、どうぞ、どうぞ、今世を大切にしていくください。私は、アルバートは待っています。

達に感じていただきたいのです。

宇宙を思えば、もちろん、そこには大きなブラックのエネルギーを感じます。しかし、それが大きな喜びだということが、心で感じられれば、今、どんな幸せの中にあるかが、心にどんどん響いてくるでしょう。

学びは、どんどん進みます。ただ一点、次元移行に向けて、どんどん進化します。

四八、誰一人例外はありません。特に、

今世、田池留吉と出会い学びに集つてこられた人達は、宇宙に真っ黒なエネルギーを垂れ流してきた意識達です。そのほんの一端をご紹介しています。

意識の流れが、その暗黒の宇宙に、ともに歩いていきましょうといざ

け、宇宙に思いを馳せ、遙かなる時を思える喜びを、一人でも多くの人

なつてくれています。

あなたも、そして、あなたも、決して他人事ではなく、ご自分の宇宙を、どうぞ、今の環境の中で心を見ることにより、感じていってください。

そして、心に上がつてきた思いを、どうぞ、これからあなたの勉強に活用していってください。

学びの基本は、何ら変わることろはありません。

お母さんの温もりです。温もりが

心に確立していなければ、学びの本筋に触れることはありません。

心は、敏感になり、色々なものを

喜びはあるの中にあります。暗

黒の宇宙が変わっていく喜び、どう

ぞ、あなたもご自分の心で感じていつ  
てください。

そこからがあなたの勉強の始まり  
なのです。

どうぞ、そのことを、何度も、自  
分に伝えてください。

私は、本当に喜びを喜び合える仲  
間を一人でも多く待っています。

私の喜びの輪の中に、あなたも、  
あなたも、どうぞ、入ってきてく  
ださい。

その喜びの輪の中に、あなたも、  
あなたも、どうぞ、入ってきてく  
ださい。

一人でも多くの人が、二五〇年後  
に繋いでほしい、そう思うだけです。

四九、田池です。  
私のホームページをご覧になつて  
いかがでしようか。

それぞれの心で感じることを大切  
にしていくください。

……、それはあなたの勉強です。

そのように、ホームページを活用  
してください。

A、B、C、D……、特別ではあ  
りません。誰でもやればできるんで  
す。

それを示しているだけです。

今世、学ぶ機会を得たのは、あな  
たです。



## 《UTA会からのお知らせ》

### ● UTA会状況とお知らせ

1) 2010年度UTA会の10月31日現在の会員数は以下の通りです。

- ・正会員 879名（海外在住者23名含む）
- ・準会員 39名（海外在住者3名含む）

2) 2010年4月以降に発送したもの

4月 冊子「宇宙の風—宇宙からのメッセージ 第1巻」

機関誌「UTA会だより第2号」

5月 本「意識の流れ 増補改訂版」田池留吉・塩川香世

6月 冊子「宇宙の風—宇宙からのメッセージ 第2巻」

7月 冊子「Message from Taike Tomekichi」

8月 冊子「あなたの意識です。第1巻」

10月 冊子「あなたの意識です。第2巻」

11月 機関誌「UTA会だより第3号」

3) 今後の予定

12月 第5回UTA会開催（19日～21日）

2011年

1月 冊子「あなたの意識です。第3巻」発送

※ 冊子は予定ですので、変更になる場合もあります。また、これ以外にも新刊本の図書館や視覚障害者施設への寄贈が予定されています。

4) 来年2011年度のUTA会の開催予定

来年度は、年4回の開催を予定しています。開催日時は、以下の通りです。

◆第6回UTA会 5月29日(日)～31日(火)／前日泊 5月28日(土)  
申込期間 4月18日(月)～5月9日(月)／キャンセル連絡日 5月13日(金)

◆第7回UTA会 7月10日(日)～12日(火)／前日泊 7月9日(土)  
申込期間 6月1日(水)～6月20日(月)／キャンセル連絡日 6月24日(金)

◆第8回UTA会 9月4日(日)～6日(火)／前日泊 9月3日(土)  
申込期間 7月25日(月)～8月15日(月)／キャンセル連絡日 8月19日(金)

◆第9回UTA会 12月18日(日)～20日(火)／前日泊 12月17日(土)  
申込期間 11月7日(月)～11月28日(月)／キャンセル連絡日 12月2日(金)

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

## 5) 来年 2011 年度の UTA 会参加料金に関してのお知らせ

来年度の UTA 会の参加料金を大人 1 泊 9,500 円とすることを予定しています。これは今年度の年会費の余剰分を皆さんに還元させていただだくためです。

ただし、年会費の余剰分が今年度が終わるまで確定しませんので、来年度の 4 回すべてに対して還元できない場合もありますので、予め、ご了承ください。

現時点で、第 6 回 UTA 会に関しましては還元することが確定しています。それ以降に関しましては、確定し次第、UTA 会のホームページでご案内いたします。

また、還元の対象は大人の宿泊のみで、前日泊、及び、お子様の料金は変わりません。

### ● 今年度の UTA 会セミナーのご案内

#### 1. 開催日時と場所（遠方から参加される方のために、前日泊も設けています）

##### ① 開催日程

###### ◆ 第 5 回 UTA 会

2010 年 12 月 19 日（日）～ 21 日（火） 参加人数 800 名

2010 年 12 月 18 日（土） 前日泊 参加人数 300 名

19 日（日） 13:30 ～ 17:00 (12:00 開場)

20 日（月） 10:00 ～ 17:00

21 日（火） 10:00 ～ 12:00 (会場は 14:30 まで使用できます)

【申込受付期間】 2010 年 11 月 8 日（月）～ 29 日（月）

【キャンセル連絡日】 2010 年 12 月 3 日（金）

##### ② 会場 琵琶湖グランドホテル

〒 520-0101 滋賀県大津市雄琴 6-5-1 / TEL 0775-79-2111

#### 2. 参加申込日程と参加料金

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,500 円
前日泊 + 全日程	3 泊 4 日 8 食付	30,500 円
前日泊 + 前半 1 泊	2 泊 3 日 5 食付	20,500 円
全日程	2 泊 3 日 6 食付	20,000 円
前半 1 泊 / 後半 1 泊	1 泊 2 日 3 食付	10,000 円

※ 初めて参加される方の参加料は、会員と同じです。但し、会員でない方の UTA 会参加は、初回のみとさせていただきます。

※ 小学生、幼児は別料金になりますので、ホームページをご参照ください。

※ 料金には、セミナー会場使用料も含まれています。

### 3. 申込方法について

- ① 申込期間内に、お近くの郵便局に備え付けの青い振替払込書にて、UTA会セミナー料金をお振り込みください。それで受付とさせていただきます。
- ② 振替払込書に、氏名、会員番号、申込日程を、必ず明記してください。布団、食事を必要としないお子様の名前、年齢も、必ず明記してください。  
※ 複数名でお申し込みの場合は、それぞれの氏名、会員番号、申込日程を必ず明記してください。  
※ 同室希望については、第3回UTA会より同室希望の受付条件を、病気の方や介護が必要な方とそのお世話をされる方、また、小さなお子様のいるご家族の方のみに、変更させていただきました。  
同室を希望される方は、お手数ですが同室希望の理由と、それぞれの氏名を、必ず明記してください。  
但し、ホテルの部屋の都合上、ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。  
※ 初めて参加される場合は、振込払込書に、氏名、申込日程、住所、電話番号、性別、年齢、メールアドレスを明記してください。(性別、年齢等はUTA会の部屋割りに、メールアドレスは受付確認メールの送信に必要となります)  
※ 交通機関のご都合等で、UTA会最終日に昼食が不要の方は、「食事不要」と振込用紙に記載してくださるよう、お願ひいたします。
- ③ 振込先（振込口座番号等は、必ず確認をお願いいたします）  
口座番号：01700-5-140092  
加入者名：UTA会

- ④ 入金の確認ができ次第、UTA会受付確認のメールを送信いたします。

なお、郵便振替払込書がこちらの手元に届くまでには4日間ほどかかりますので、確認メールの到着までには、一週間ほどお待ちください。また、メールアドレスをお持ちでない方へは、ハガキにてお知らせいたします。

### 4. キャンセルについて

- ・キャンセル連絡日までのキャンセルはメールで、また、キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセルは、必ず次ページの電話番号まで連絡をお願いいたします。
- ・キャンセル連絡日までのキャンセル料は、無料です。
- ・キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセル料は、総額の100%です。
- ・UTA会当日にキャンセルされる場合でも、必ず電話連絡をお願いいたします。

### 5. 参加についてのお願い

- ・参加のお申し込みは、必ず、期間内にお願いいたします。
- ・義務教育中のお子様の学校を休んでの参加、または幼児、小、中学生の保護者同伴なしでの参加は、ご遠慮ください。

- ・家族（夫、妻、舅、姑、子供…）に、UTA会への参加を反対されている人、または家族、職場に対して嘘について参加することは、ご遠慮ください。
  - ・参加費用を借金してUTA会に参加することは、ご遠慮ください。
  - ・ホテルや他の宿泊客に迷惑をかける人、またはUTA会の進行を妨げるような行動を取る人は、参加をご遠慮ください。
  - ・参加者同士がトラブルを起こした場合、当事者間で解決が見られるまで、参加をご遠慮ください。
  - ・セミナー期間中の個人的な物品の販売は、ご遠慮ください。

## 6. 会場ホテルへのアクセス

- #### ・電車をご利用の方

大阪・東京方面→JR京都駅→JR湖西線「おごと温泉駅」下車(JR京都駅より20分)  
→琵琶湖グランドホテル (JRおごと温泉駅よりホテルの送迎バスにて5分)

- #### ・自動車をご利用の方

大阪・東京方面→名神高速道路 京都東 IC →西大津バイパス仰木雄琴 IC →  
国道 161 号線→琵琶湖グランドホテル（仰木雄琴 IC より 2 分）

## 【連絡先】

- ・お問い合わせは、UTA会サポートまでメールでお願いいたします。  
メールアドレス：support@utakai.net
  - ・キャンセル連絡日までの変更、及び、キャンセルは、上記UTA会サポートまでメールで、キャンセル連絡日を過ぎての変更、及び、キャンセルは、下記まで電話でご連絡ください。

幹事長 久保明子 TEL. 042-771-9100

UTA会のホームページでもセミナーの案内等を掲載していますので、ぜひ、ご参照ください。

UTA会ホームページ：<http://utakai.net/utakai/index.html>



◇ 第4回UTA会セミナーでは、最終日の昼食が、交通機関等の都合で不要の方には、振込用紙に「昼食不要」と記入していただくようお願いいたしました。その結果、かなりの方に記入していただき、助かりました。本当に、ご協力ありがとうございました。今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。

◆ U T A会のホームページで、体験談やメッセージを最近頻繁に募集しています。この誌面でも、寄せられた体験談やメッセージを、ともに勉強している仲間に紹介していくたいと思っていますので、たくさんのご応募をお待ちしています。(中村)